

年間指導計画参考資料【生活科下巻】

※生活科は上下巻同時供給となるため、下巻については令和2年度は「平成31年度供給の教科書」を使用します。

◆本資料は、小学校「生活」の年間指導計画において、「学校の授業以外での学習が可能と考えられる教材・学習活動」についての参考資料となります。

◆「具体的な活動や体験を通して学ぶ」という生活科の教科特性や、低学年という発達段階を考慮し、家庭環境が多様であるという現状を踏まえると、生活科の学習活動は、学校の授業で行うことが望ましいという考え方を基に作成しました。

各学校の実情に応じてご活用下さい。

学校図書株式会社
生活科編集部

令和2年度用 生活科下巻 時間配当例

単元名	ページ	学校の授業	学校の授業外
町の すてき 大はっ見	下巻p.2-37	18(+4)	5
わたしたちの 野さいばたけ	下巻p.38-55	23(+2)	2
生きものと 友だち	下巻p.56-75	10(+3)	3
作って あそぼう	下巻p.76-95	15(+1)	2
わたし 大すき みんな 大すき	下巻p.76-95	11(+2)	4

77(+12)

16

単元名	下巻p.2-37	(3) 地域と生活	【知】知識・技能
町の すてき 大はっ見	学校の授業 18時間(+4)	(4) 公共物や公共施設の利用	【思】思考・判断・表現
	学校の授業以外 5時間	(5) 季節の変化と生活	【態】主体的に学習に取り組む態度
		(8) 生活や出来事の伝え合い	※ 観点別評価はB基準を示しています。

学校での授業以外の場において取り組むことが可能と考えられる内容・時間数など(赤字)
活動等を行う際の留意点(青字)

【知】	自分の町を探検し、調べる活動を通して、町の特徴やよさ、そこに暮らしたり働いたりする人々の様子、季節による変化等に気付いている。
【思】	自分の町を探検し、調べる活動を通して、発見したことや体験したこと等を絵や文にまとめて、まわりの人々に伝えている。
【態】	自分の町を探検し、調べる活動を通して、地域の自然やそこで暮らす人々とかかわり、自分たちの町に対して親しみや愛着をもとうとしている。

新型コロナウイルス感染症対策として指導順序を変更することが考えられる活動
・地域の状況を見て、より適切な時期にとり行う。
・下巻p.26のようなお世話になった地域の方々などを招いた発表会を、まとめたものや制作物を写真に撮ったりしたものや、お礼のお手紙などをお世話になった方々に送るなど活動に切り替えることも考えられる。

時	小単元のねらい	該当頁	学習活動	観点別評価
3	わたしの 町 ・町の自然や人々の様子を紹介し合い、自分たちの住む町に関心を向けることができる。 ・自分の好きな場所を紹介し合う中で、自分たちの住む町に関心を向け、友達が紹介した場所に行ってみたいという意欲を高めることができる。	2-9	・町の自然や人々の様子を振り返り、「町の素敵な場所」を考える。 ・学校を中心に考え、通学路の秘密を紹介し合い、行きたい場所を出し合う。	【知】1回目の町探検を通して、町には様々な自然や施設があり、様々な人々が働いていることに気付いている。(カード・発言)【A:多くの気付き、自分なりの気付き】 【思】1回目の町探検を振り返り、発見したことや気付いたことを表現している。(カード・発言)【A:自分なりに工夫して、自分の言葉で】 【態】町の秘密や、子ども一人一人の素敵な場所を発表することによって、期待をもって町探検の準備をし、探検に参加しようとしている。(行動・発言)【A:自分なりのこだわりをもって、自分から進んで】
6	町たんけん 1 ・行きたい場所を決め、1回目の町探検に行く準備をすることができる。 ・1回目の町探検に行き、地域の自然や人々の様子について発見したり、関心をもったりすることができる。 ・1回目の町探検を通して、気付いたことを絵や文でまとめ、友達に知らせることができる。	10-19	・行ってみたい場所を決め、1回目の町探検に行く準備をする。 ・友達と一緒に1回目の町探検に行き、地域の自然や人々の様子を見て回る。 ・発見したこと、体験したこと、考えたこと等を、絵や文等で表現する。	

学校での授業以外の場において取り組むことが可能な学習活動の内容と時数
・学校を中心に考え、紹介したい通学路の秘密を書く。【1時間】
※ 事前に地域の状況を確認し、感染防止の観点からも訪れる場を厳選する。 ※ 校外に出た場合、手洗い・うがいの指導を徹底する。
・(友達と伝え合う前に)発見したこと、体験したこと、考えたこと等を、絵や文等で表現する。【1時間】

8	町たんけん 2 ・1回目の町探検で興味や関心をもったことを振り返り、2回目の探検に行く場所を決めることができる。 ・調べたい内容を整理し、町の人々にインタビューしに行く準備をすることができる。 ・2回目の町探検に行き、町の人々に直接インタビューする活動を通して、町の人々の営みの様子に気付くことができる。	20-23	・1回目の町探検で興味や関心をもったことを振り返り、2回目の探検に行く場所を決める。 ・調べたい内容を整理し、町の人々にインタビューしに行く準備をする。 ・2回目の町探検に行き、町の人々に直接インタビューする活動を通して、町の人々の営みの様子に気付く。	【知】町探検を通して、地域の自然や公共施設、働いている人々の存在に気付き、それらは自分たちの生活と深く関わっていることに気付いている。(行動・発言・インタビューカード)【A:多くの気付き、深い気付き】 【思】自分の聞きたいことについて、内容を整理し、町の人々にインタビューしている。(行動・発言・インタビューカード)【A:わかりやすい質問を工夫して、自分なりに工夫して】 【感】町で働いている人に関心をもち、町の人々にインタビューしようとしている。(行動・発言・インタビューカード)【A:親しみをもって、ていねいに、相手を気づかかって】	※ 事前に地域の状況を確認し、感染拡大防止の観点からも訪れる場を厳選する。 ※校外に出た場合、手洗い・うがいの指導を徹底する。 ・1回目の町探検で興味や関心をもったことを振り返り、2回目の探検に行きたい場所を考える。【1時間】 ・(2回目の探検を友達と伝え合う前に)発見したこと、体験したこと、考えたこと等を、絵や文等で表現する。【1時間】
6	町の しょうかい ・2回の探検を通して発見したことや思ったこと等を、工夫して表現することができる。 ・町の発表会を開き、自分の発見したことや町のよいところを紹介することができる。 ・町の人々と交流することを通して、自分の町について愛着を高めることができる。	24-37	・2回目の探検の気付きを発表しあい、伝えたいことをまとめる。 ・招待状やお手紙を出したり、町の発表会の準備をする。 ・自分が大好きな町で活動したいことについて話し合う。	【知】町探検を通して、自分でまとめて発表できたことや、友達の発表のよさに気付いている。(作品・行動・発言)【A:多くの気付き、友達のよさへの気付き】 【思】探検で見つけたことや楽しかったことをまとめ、表現している。(作品・行動・発言)【A:見やすいように工夫して、自分の言葉で】 【感】探検して見つけたことや楽しかったこと等を表現し、発表しようとしている。(作品・行動・発言)【A:自分から進んで、意欲的に】	・招待状やお手紙つくるなど、町の発表会の準備をする。【1時間】

単元名	下巻 p.38-55	(5) 季節の変化と生活
わたしたちの 野さいばたけ	学校の授業 23時間 (+2)	(7) 動植物の飼育・栽培
	学校の授業以外 2時間	(8) 生活や出来事の伝え合い

【評価の観点から見た大単元のねらい】

【知】	主体的に野菜を育てる活動を通して、野菜も自分たちと同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。
【思】	主体的に野菜を育てる活動を通して、育てるための環境や世話を工夫したり、成長の様子や自分の取り組み等を絵や文等で表現している。
【態】	主体的に野菜を育てる活動を通して、その成長を楽しみにしながら、親しみの気持ちをもって野菜の世話をしようとしている。

※屋外や校外に出た場合、手洗い・うがいの指導を徹底する。

新型コロナウイルス感染症対策として指導順序を変更することが考えられる活動
・野菜の苗うえや種まきの時期に実施できなかった場合、下巻 p.55で示す秋野菜を教材とすることも考えられる。

時	小単元のねらい	該当頁	学習活動	観点別評価
5	野さい作りの じゅんぴ ・自分の育てたい野菜を決めるため、今売っている苗を見に行ったりする。 ・栽培方法を調べたり、栽培計画を立てたりすることができる。 ・育てたい野菜の苗や種、栽培に必要なものを準備することができる。 ・みんなで協力して畑作りをすることができる。	38-47	・育てたい野菜を決め、栽培計画を立てる。 ・野菜の苗、育てる場所、道具等の準備をする。 ・野菜がよく育つように、畑作りをする。	【知】畑を耕すと野菜がよく育つことや、これからは世話が必要なことに気付いている。(作品・行動・発言)【A: 多くの気付き、自分なりの気付き】 【思】野菜が育つのに適切な環境を考えながら作業をしたり、その時の思いを絵や文で表現している。(作品・行動・発言)【A: 自分なりの方法で、思いを込めて】 【態】おいしい野菜を育てたいという願いを持ち、育てたい野菜を自分で決め、栽培の準備や苗植えをしようとしている。(行動・発言)【A: 苗を気づかいながら、ていねいに】
4	なえうえ ・自分の育てたい野菜の苗を入手し、思いをこめて苗植えをすることができる。 ・自分の育てる野菜の様子や成長への願いを表現することができる。	48-49	・自分の育てたい野菜を入手して、野菜の苗植えをする。 ・苗植えや種まきの様子や、そのときの自分の思いや願いを絵や文で表現する。	
6	野さいの 世話 ・自分の育てている野菜の様子を観察しながら、必要な世話を継続することができる。	50-51	・野菜の成長する様子を観察し、水やりや草取り、支柱立て等の必要な世話をする。 ・虫害、鳥害、日照り等のトラブルに対して、人に相談する等して適切に対応する。 ・世話をしながら観察したことや気付いたことをカードにかく。	【知】野菜の様々な変化に気付くとともに、適切な世話が必要であることに気付いている。(作品・行動・発言)【A: 多くの気付き】 【思】野菜の成長する過程や、育つ環境を見ながら、適切な工夫をすることができる。(作品・行動・発言)【A: 自分なりの方法で、思いを込めて】 【態】野菜の成長を楽しみにしながら世話をしたり、自分が育てた野菜を意欲的に収穫したりしようとしている。(作品・行動・発言)【A: 気づかいながら、ていねいに】
5	野さいの しゅうかく ・自分の育てた夏野菜を収穫し、その喜びを表現することができる。 ・夏野菜の畑の後片付けをすることができる。	52-53	・野菜の収穫について話し合い、収穫の準備をする。 ・収穫した野菜を数えたり、大きさを測ったりして記録する。 ・収穫の喜びを絵や文、作品にして表現する。 ・みんなで協力して、夏野菜の畑の後片付けをする。	【知】畑を耕したり、毎日世話をしてきたおかげで野菜ができたことに気付いている。(作品・行動・発言)【A: 多くの気付き、自分なりの気付き】 【思】収穫した野菜の様子や喜びを、絵や文等に表現している。(作品・行動・発言)【A: 自分なりの方法で、思いを込めて】 【態】大事に育ててきた野菜の収穫を終え、みんなで畑の片付けをしようとしている。(行動・発言)【A: 自分から進んで】

学校での授業以外の場において取り組むことが可能な学習活動の内容と時数
※子供が育てたいと考えた苗等を数種類ほど学校側が準備しておくことも考えられる。 ※学校外でも栽培できるように植木鉢を利用することも考えられる。 ・決めた野菜の栽培方法を調べたり、栽培計画を立てたりする。 【1時間】
・収穫の喜びを絵や文にかいたり、作品にして表現する。【1時間】

5	わたしと 野さい ・これまでの野菜作りを振り返って、自分の育てた野菜への思いや、気付いたことを表現したり、伝えたりすることができる。	54-55	・自分の育てた野菜への思いや気付きを絵や文でまとめながら振り返る。 ・まとめたものを友達同士で発表し合う。 ・これから育てる野菜について相談する。	【知】 育てた野菜を思い出しながら、野菜によって様々な違いがあることに気付いている。(作品・行動・発言)【A: 多くの気付き, 自分なりの気付き】 【思】 育てた野菜のことを思い出しながら、世話で工夫したこと等をまとめたり、発表している。(作品・発言)【A: 見やすいように工夫して】 【態】 野菜を育てた経験から学んだことや考えたこと等をみんなに伝えようとしている。(行動・発言)【A: 自分から進んで, 思いを込めて】	
	・自分の育てたい野菜を決め、みんなで協力して畑作りや土作りをし、野菜の苗植えをすることができる。 ・継続して野菜の世話を続けることができる。		・栽培の方法を調べながら栽培計画を立て、みんなで協力して畑作りをして、秋からの野菜の苗植えをする。 ・継続して野菜の世話を続け、収穫する。	【知】 夏に野菜を育てたことを思い出しながら、育て方や時期等に共通点や違いがあることに気付いている。(行動・発言)【A: 多くの気付き, 自分なりの気付き】 【思】 夏に野菜を育てたことを思い出しながら、栽培計画表を作ったり、世話の仕方を工夫したりしている。(作品・行動・発言)【A: 見やすいように工夫して】 【態】 秋からの野菜を育てたいという願いをもち、栽培の準備や、種まきをしようとしている。(行動・発言)【A: 自分から進んで, 願いを込めて】	

単元名	下巻p.56-75	内容 (7) 動植物の飼育・栽培	※アメリカザリガニは、生態系被害防止リストの緊急対策外来種に選定されています。飼育している場合、蓋付きの容器で飼育し、決して野外に放さず最後まで責任をもって飼育してください。また条例等で採取飼育が禁止されている地域もあるので、確認の上取り扱ってください。
生きものと 友だち	学校の授業 10時間(+3)	内容 (8) 生活や出来事の伝え合い	
	学校の授業以外 3時間		

【評価の観点から見た大単元のねらい】

【知】	いろいろな生きものの世話をしたり育てたりする活動を通して、友達といっしょに生きものの世話をしながら、その成長の喜びを味わい、生きものも自分たちと同じように成長していることに気付いている。
【思】	いろいろな生きものの世話をしたり育てたりする活動を通して、生きもののおみやみやすい環境を考えて世話を工夫したり、分からないことを人に相談したりしながら、自分たちで工夫して活動している。
【態】	いろいろな生きものの世話をしたり育てたりする活動を通して、生きものを自分たちと同じように生命あるものとして大切に扱おうとしている。

新型コロナウイルス感染症対策として指導順序を変更することが考えられる活動
・適切な時期に合わせて行う。
・飼育可能な生き物を選択して長期にわたる継続的な飼育を行うことも考えられる。

時	小単元のねらい	該当頁	学習活動	観点別評価
3	生きもの さがし ・校庭や学校の近くでの生きもの探しを通して、飼育動物や虫等の生きものに親しみをもち大切に扱うことができる。	56-65	・校庭や学校の近くで虫等の小さな生きものを探したり一緒に遊んだりする。 ・捕まえた生きものは、一定期間飼育してみる。	【知】生きものが健康で長生きするために、環境を工夫することが大切であると気付いている。(行動・発言)【A:多くの気付き, 深い気付き】 【思】生きものの好む環境を考え、すみよい環境にするために工夫している。(行動・発言)【A:いたわって, 自分の方法で】 【態】生きものを大切にしたいという願いをもって生きもの探しをし、捕まえた生きものの世話をしようとしている。(行動・発言)【A:いたわって, 毎日忘れずに】
2	ザリガニの せわ ・えさやりや水槽の掃除等の世話をする活動を通して、生きものも自分たちと同じように生命をもっていることに気付く。	66-67	・ザリガニの飼育をする。 ・ザリガニが生息していた場所を思い出しながら水槽等に何を入れればよいか考える。 ・ザリガニのえさは何がよいのか、元気に飼い続けるにはどうしたらよいかなど、世話の仕方を話し合ったり、調べたりする。	【知】生きものの世話をしたり、観察をしたりする中で、生きものも自分たちと同じように成長していることや、命をもっていることに気付いている。(カード・行動・発言)【A:多くの気付き, 深い気付き】 【思】生きものの世話をしたり観察したりしながら、トラブルに際しては生きものの身になって考え、行動したりしている。(カード・行動・発言)【A:自分なりに工夫して】 【態】生きものを大切に育てたいという願いをもち、責任をもって世話をしようとしている。(行動・発言)【A:いたわって, 毎日忘れずに】
3	ザリガニはかせ ・生きものと触れ合う活動を通して、感じたことや、観察したことを表現することができる。 ・疑問に思ったことや不思議に思ったことを確かめようとしている。	68-69	・ザリガニのお世話をしながら、疑問に思ったことや不思議に思ったことを調べたり、教えてもらったりする。 ・発見したことや感じたことを絵や作文で表現したり、伝えたりする。	【知】生きものの世話を通して、自分自身が生きものに愛着を覚え、大好きになってきたことに気付いている。(カード・行動・発言)【A:多くの気付き, 深い気付き】 【思】生きものの観察を通して気付いたことや感じたこと等を、工夫して表現している。(カード・行動・発言)【A:自分なりに工夫して】 【態】生きものの観察を通して気付いたことや感じたこと等を表現し、発表しようとしている。(行動・発言)【A:自分から進んで, いたわりながら】
2	ダンゴムシの せわ ・えさやりや飼育ケースの掃除等の世話をする活動を通して、生きものも自分たちと同じように生命をもっていることに気付く。	70-71	・代表的なダンゴムシの飼育をする。 ・ダンゴムシが生息していた場所を思い出しながら飼育ケースの環境を考える。 ・ダンゴムシのえさは何がよいのか、元気に飼い続けるにはどうしたらよいかなど、世話の仕方を話し合ったり、調べたりする。	【知】生きものの世話をしたり、観察をしたりする中で、生きものも自分たちと同じように成長していることや、命をもっていることに気付いている。(カード・行動・発言)【A:多くの気付き, 深い気付き】 【思】生きものの世話をしたり観察したりしながら、生じた問題に対して生きものの身になって考え、行動したりしている。(カード・行動・発言)【A:自分なりに工夫して】 【態】生きものを大切に育てたいという願いをもって世話をしようとしている。(行動・発言)【A:いたわって, 毎日忘れずに】

学校での授業以外の場において取り組むことが可能な学習活動の内容と時数
※ 子ども同士が近距離で接触する活動避ける。 ※ 屋外や校外に出た場合や生きものに触った後など、手洗い・うがいの指導を徹底する。
・校庭や学校の近くで虫等の小さな生きものを探す。【1時間】
・発見したことや感じたことを絵や作文で表現し、伝える準備をする。【1時間】

3	ダンゴムシはかせ ・生きものと触れ合う活動を通して、感じたことや、観察したことを表現することができる。 ・疑問に思ったことや不思議に思ったことを確かめようとしている。	72-73	・ダンゴムシのお世話をしながら、疑問に思ったことや不思議に思ったことを調べたり、教えてもらったりする。 ・発見したことや感じたことを絵や作文で表現したり、伝えたりする。	【知】生きものの観察を通して、自分自身が生きものに愛着を覚え、大好きになってきたことに気付いている。(カード・行動・発言)【A:多くの気付き, 深い気付き】 【思】生きものの観察を通して気付いたことや感じたこと等を, 表現している。(カード・行動・発言)【A:自分なりに工夫して】 【態】生きものの観察を通して気付いたことや感じたこと等を表現し, 発表しようとしている。(行動・発言)【A:自分から進んで, いたわりながら】	・発見したことや感じたことを絵や作文で表現し, 伝える準備をする。【1時間】
---	---	-------	--	---	---

単元名	下巻 p.76-95	内容 (6) 自然や物を使った遊び
作って あそぼう	学校の授業 15時間(+1)	内容 (8) 生活や出来事の伝え合い
	学校の授業以外 2時間	

【評価の観点から見た大単元のねらい】

【知】	身近にある材料を利用して、おもちゃを作る活動を通して、身近にある材料を工夫するだけで、楽しく遊べるおもちゃが作れることや、みんなで協力すればより楽しく遊べることに気付いている。
【思】	身近にある材料を利用して、おもちゃを作る活動を通して、友達と相談したり、自分なりに工夫したりしながら、おもちゃを作ることができる。
【態】	身近にある材料を利用して、おもちゃを作る活動を通して、友達と一緒に楽しく遊ぼうとしている。

新型コロナウイルス感染症対策として指導順序を変更することが考えられる活動
特になし

時	小単元のねらい	該当頁	学習活動	観点別評価
4	おもちゃ 作りの じゅんぴ ・どんなおもちゃがあるのかを調べ、自分の作りたいおもちゃを決めることができる。 ・おもちゃ作りに必要な材料を集めることができる。	76-83	・動くおもちゃにはどんなものがあるかを話し合う。 ・自分でどんなおもちゃを作りたいかを決め、材料を集める。 ・作りたいおもちゃの設計図をかくことができる。	【知】 身近にあるいろいろな材料の特性や、おもちゃの動く仕組み等に気付いている。(作品・行動)【A:ユニークな工夫に対する気づき、多くの気づき】 【思】 今までの経験を思い出したり、身近な物を有効に利用したりして、工夫して動くおもちゃを作っている。(作品・行動)【A:ていねいに、独創的に、友達と相談して】 【態】 自分の作りたいおもちゃを決め、おもちゃを作るために使えそうな材料を集めて、自分なりに工夫しながらおもちゃを作ろうとしている。(作品・行動)【A:集中して、自力で、ねばり強く】
8	作って あそぼう ・ゴムや風、バランス等を利用して動くおもちゃを作り、遊ぶことができる。 ・自分の作ったおもちゃを改善したり、遊び方を考えたりできる。	84-87	・自分でおもちゃを作る。 ・改良したり、修正したりしながら遊ぶことができる。 ・友達と一緒に楽しく遊ぶことができる。	【知】 動くおもちゃで遊ぶ中で、動きの面白さや不思議さ、友達と自分との違い、約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶことの楽しさに気付いている。(行動・発言)【A:ユニークな工夫に対する気づき、多くの気づき】 【思】 作ったおもちゃについて、友達のおもちゃと比べたり試したりしながら工夫し、それを絵や文で表現している。(作品・行動・記録)【A:ていねいに、独創的に、友達と相談して】 【態】 自分のおもちゃを作りたいため試してみよう、より滑らかな動きや上手な動きへの思いや願いをもち、おもちゃを改良しようとしている。(作品・行動・発言)【A:集中して、自力で、ねばり強く】
5	みんなで あそぼう ・友達とどんな「おもちゃの広場」にするかのイメージを出し合い、計画を立てたり材料を集めたりする。 ・友達と協力して、安全に気をつけながら準備を進めることができる。 ・1年生を招待したり、隣のクラスと一緒に楽しく遊ぶことができる。 ・使用した材料の処理等も考えて、協力して遊んだあとの後片付けをすることができる。	88-89	・どんな「おもちゃの広場」を作るかを話し合い、計画を立てたり、材料を集めたりする。 ・友達と協力して、楽しく遊ぶための様々な工夫をして「おもちゃの広場」を完成させる。 ・1年生や隣のクラスを招待して一緒に楽しく遊ぶことができる。 ・使用した材料の処理等も考えて、協力して遊んだあとの後片付けをする。 ・近くの幼稚園や保育園、家の人にもあそびを紹介する。	【知】 身近にある物を使って、友達と力を合わせれば、みんなで楽しく遊ぶことができることに気付いている。(作品・行動・発言)【A:多くの気づき、自分なりの気づき】 【思】 今までの体験を思い出したり、いろいろな人と相談・協力したり等して、より楽しい「おもちゃの広場」を作り上げている。(作品・行動・発言)【A:ていねいに、独創的に】 【態】 今までの体験を思い出したり、遊びを工夫したりして、招待した人を楽しんでもらえるような「おもちゃの広場」を作り上げようとしている。(行動・発言・作品)【A:友達と協力して、より楽しくしようとして】

学校での授業以外の場において取り組むことが可能な学習活動の内容と時数
・自分ですべてのおもちゃを作りたいかを決め、材料を集める。【1時間】
※ 下巻p.88-89のように他クラスの子どもや園児を招待する場合、十分な距離を保てるか留意する。 ・作りたい「おもちゃの広場」について、計画を立てたり、材料を集めたりする。【1時間】

単元名	下巻 p.96-111	(2) 家庭と生活	●再度子どもの家庭・生育歴を確認し、配慮が必要な子どもがいる場合、インタビュー等は基本小学校1年生の頃、幼稚園、保育所の頃までの扱いとする。 ●幼保が遠方だったり通っていない子どもがいる場合は、1年生のときの様子調べを中心とする。その場合、教師側でのフォローを徹底する。
わたし 大すき みんな 大すき	学校の授業 11時間(+2)	(8) 生活や出来事の伝え合い	
	学校の授業以外 4時間	(9) 自分の成長	

【評価の観点から見た大単元のねらい】

【知】	小さいころの自分について振り返る活動を通して、大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたこと等がわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた多くの人々がいることに気付いている。
【思】	小さいころの自分について振り返る活動を通して、工夫して自分の成長を振り返るとともに、わかったことや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを作品に表現することができる。
【態】	小さいころの自分について振り返る活動を通して、印象に残ったことや心に残っていることを発表し合い、自分の成長を自覚するとともに、これからも意欲と希望をもって生活しようとしている。

新型コロナウイルス感染症対策として指導順序を変更することが考えられる活動
特になし

時	小単元のねらい	該当頁	学習活動	観点別評価
5	できるように なったこと ・入学してからこれまでを振り返って、自分ができるようになったことや友達のよさに気付くことができる。	96-101	・入学してからどんなことができるようになったかを振り返り、カードにかいて、友達と話し合う。 ・友達のよいところを「キラリカード」に書いて相手に伝える。	【知】 入学してから自分のできるようになったことや友達のよいところに気付いている。(作品・行動・発言)【A:多くの気付き、深い気付き】 【思】 できるようになったことや友達のよいところを振り返って、カードに書いたり、発表したりしている。(インタビューカード・行動・発言)【A:自分なりに工夫して、自分の言葉で】 【態】 自分ができるようになったことや、友達のよいところを振り返ろうとしている。(行動・発言)【A:自分から進んで、思いを込めて】
3	小さい ころの こと ・小さかった頃のことに関心を持ち、現在までの自分の成長の様子を身近な人にインタビューする等して調べ、自分の成長に気付くことができる。	102-103	・小さい頃のことに関心を持ち、知りたいことや聞いてみたい相手について話し合い、インタビューの準備をする。 ・身近な人々にインタビューをして、聞いてきたことや感じたことを紹介し合い、カードや作品にして記録する。	【知】 過去と現在の自分の違いに気付くとともに、自分の成長には多くの人々の支えがあったことに気付いている。(作品・行動・発言)【A:多くの気付き、深い気付き】 【思】 調べる計画を立てたり、調べてわかったことや感じたことをカードに記録したりしている。(インタビューカード・行動・発言)【A:表現方法を工夫して、自分の言葉で】 【態】 自分の成長の様子を知る手がかりを探したり、いろいろな人に話を聞いたりしようとしている。(行動・発言)【A:こだわりをもって、思いを込めて】
4	自分ものがたり ・自分の成長について調べたことや分かったことを自分なりの方法でまとめ、自分の成長を支えてくれた人々に、感謝の気持ちを伝えることができる。 ・これからの自分の生活に期待と意欲を持つことができる。	104-107	・調べたことをもとに自分の好きな方法で「自分ものがたり」を作る。 ・「自分ものがたり」を友達や自分の成長を支えてくれた人に紹介し、感謝の気持ちを伝える。 ・作品作りでお世話になった人に感謝の手紙を出したりする。	【知】 自分の成長に満足感を感じ、これからも多くの人に支えられて成長していくことに気付いている。(作品・行動・発言)【A:多くの気付き、深い気付き】 【思】 自分の成長の様子がどんなことから実感できるのか考えたり、感じたことや思ったことを様々な方法で表現したりしている。(作品・行動・発言)【A:表現方法を工夫して、自分の言葉で】 【態】 調べたことをもとに、自分なりに成長の様子をまとめることを楽しんだり、身近な人々に対する感謝の気持ちを率直に伝えようとしている。(作品・行動・発言)【A:こだわりをもって、思いを込めて】

学校での授業以外の場において取り組むことが可能な学習活動の内容と時数 ・入学してからできるようになったことを振り返り、カードにかく。【2時間】
※ 学校外の人にインタビューする場合は、直接に会いに行くのではなく電話や手紙などで質問することも考えられる。 ・身近な人々にインタビューをして、聞いてきたことや感じたことを紹介し合う準備をする。【1時間】
・自分で調べたことや分かったことをまとめる方法を考え、まとめるための準備をする。【1時間】

3	もうすぐ 3年生 ・3年生になる期待や抱負について話し合ったり、未来の夢や希望について考えたりして、これからの生活に意欲を持つことができる。	108-111	・現在の3年生や上級生にインタビューしたり、見学に行ったりして3年生になる期待や抱負、これからやってみたいこと等について話し合う。 ・未来の自分に対して、今の夢や希望を手紙にまとめる。	【知】これまでに経験してきたこと、3年生になってやりたいことがあること、多くの人に支えられてきたことに気付いている。【作品・行動・発言】(A:多くの気付き、深い気付き) 【思】3年生になってやりたいことや将来の夢について前向きに考え、作文等に表現している。【作品・行動・発言】(A:わかりやすい方法を工夫して、自分の言葉で) 【態】入学してからこれまでを振り返り、3年生になってやりたいことや将来の夢を前向きに考えようとしている。【作品・行動・発言】(A:自分なりのこだわりをもって)	
---	---	---------	--	---	--